	番号		取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
_	理念に理念の	- 基づく運営】 O共有			
1	1	〇地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	周辺の山や川を見ながらゆったりとした、 その人らしい生活をして頂く。		
2	2	〇理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組 んでいる	朝の申送りの後でスタッフ一同で理念の復唱をしスタッフ間の和を乱す事なく笑顔を持って利用者に対応する。		
3	_	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした 理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでい る	運営理念を玄関にかかげ家族や当ホームを 見学に来て頂いた方達に少しでも理解して 頂く様に説明をしている。		
2.	地域と	の支え合い			
4	_	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽 に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努 めている	利用者の方とホーム周囲を散歩し隣近所の 方達と気軽に声かけをし野菜を頂いたりし て帰ってくる。		
5	3	〇地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人 会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努 めている	利用者の方の体調に合せ敬老会や近くの小学校の七夕様に参加したりお誕生会には児童がかけつけてくれて一緒に催し物をして御祝をする。		地域の方々が気軽に立ち寄って頂いたり遊 びに来て下さったりしている。
6	_	〇事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事務所々職員の状況や力に応じて、 地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組 んでいる			月に1回位は近所の一人暮らしのお年寄り を招待しお食事会などをし色々な話をした い。

	<u>ープト</u> 番号		取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
3.	理念を	実践するための制度の理解と活用			
		○評価の意義の理解と活用			
7	4	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意 義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
		○運営推進会議を活かした取り組み			
8	5	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組 み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている			今後、運営推進会議を行えるように努力し たい。
		〇市町村との連携			
9	6	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
		〇権利擁護に関する制度の理解と活用			成年後見制度については、Fブロックの勉
10	7	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学 ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には それらを活用できるよう支援している			強会に参加してはいるが、今いち理解できていない。当ホームでは、利用者の該当者がいない為、一度も経験していない。
		○虐待の防止の徹底			
11	_	管理者や職員は、高齢者虐待防止関適法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	時折、他施設での虐待を新聞やテレビで報道されているのを聞き、当ホーム全体を見直し、防止に努めている。		
4.	理念を	実践するための体制			
12	_	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問	入居される時は、重要事項項目を説明しな がら、不安や疑問に応え、安心して入居し て頂き、解約される場合は必要あれば、病		
		契約を結んだり解約を9つ際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	院や施設等を、御家族の方と一緒に考慮している。		

項目	ーノ! 番号	項目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
13	-	○運営に関する利用者意見の反映利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	認知のひどい方が多い為、一人一人の問題 行動を上げ、朝の申し送り後、又は昼休み に管理者とスタッフ一同で意見を出し合 い、利用者の家庭的でゆったりとした生活 を援助している。		
14	8	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の 異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をして いる	家族が面会に来られた時は、居室にてお茶を出し最近のホームでの暮らしぶりを報告しながら、利用者の入居前の生活の情報を一つでも聞き出し今後の対応に役立てていきたい。		
15	9	○運営に関する家族等意見の反映家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し家族からの意見等が あった場合月1回のミーティングで話し合 いを行うようにしている。		
16	_	〇運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会 を設け、反映させている	毎月10日に18Hよりミーティングを行いスタッフからの意見、提案を聞き納得いくまで論議をし、働きやすい職場にする事に努めている。		
17	_	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、 必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努 めている	スタッフの人員不足のある時は1ユニット・2ユニットにこだわらず忙しい所へ応援に行く。調理の忙しい時間帯には、必ずスタッフー人が手伝う事にしている。		
18	10	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	当ホームは職員の入れ替りが少ない為、開設以来、勤務場所はほとんど変わっていない。スタッフが変わると利用者の不穏を招くのではないかと異動はしていない		1ユニット・2ユニットの認知度が違うため、職員の向上には2年に1回程の勤務交替をしてもよいと思う。

項目	番号	項目	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
5.	人材の	育成と支援			
19	11	〇人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別 や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生 きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証される よう配慮している			
20	12	〇人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するため に、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる			
21	13	〇職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を たて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレー ニングしていくことを進めている	職場が最良の研修の場と思っている。目の 前の入居者の様々な行動にどう対応してい くか繰り返しミニカンファレンスを行いケ アへの考え方を深めて行く。		
22		○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
23	_	〇職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環 境づくりに取り組んでいる			
24	_	〇向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握 し、各自が向上心を持って働けるように努めている			

	ークド 番号		取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容		
自己	外部	· 耳 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んでいきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)		
1.	相談が	いら利用に至るまでの関係づくりとその対応					
		〇初期に築く本人との信頼関係					
25	_	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている					
		○初期に築く家族との信頼関係					
26	_	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている					
		〇初期対応の見極めと支援					
27	_	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている					
		○馴染みながらのサービス利用					
28	15	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用される前に本人と家族が見学に来られ納得の上で入居して頂きなじみの物(タンス・洋服など)を持ってきて頂き少しづつホームの生活に馴染んでもらう。		1週間又は2~3日でも体験入所して本人が納得され入居をきめられる様に取り組んでいきたい。		
2.	新たな	·関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
		〇本人と共に過ごし支えあう関係					
29	16	職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の若い頃の話や楽しかった頃の話などを聞いたり、その頃の歌など一緒に唄ったりしている。		ぬり絵・歌・計算など得意分野で力を発揮 してもらい、他利用者にも学び共に過ごし てもらえるように取り組んでいきたい。		
		〇本人を共に支えあう家族との関係					
30	_	職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共 にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との情報交換を行い、自宅での暮らし ぶりなど教えてもらい自宅での生活とあま り変わらない様に支援している。		家族のこれまでの苦しみ、悲しみを把握し本人を支える姿勢で一緒に考えていきたい。		
	<u> </u>		<u> </u>				

項目	番号	石 D	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
31	_	〇本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が 築いていけるように支援している	家族の方が気軽に面会に来て頂けるような、環境造りや、家族の方が遠方にいらっしゃる入居者の方は手紙や電話を自由に利用して頂くようにしている。		今まで以上に家族の方とよりよい関係を築 いて頂くように、家族の方と一緒にふれ合 えるような行事などを行いたい。
32	_	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途 切れないよう、支援に努めている	本人が今まで培ってきた人間関係まで、把握できていない部分があり、なかなか知人、友人の面会や家族以外の方との人間関係が継続出来ていない事がある。		可能な方は、外出や外泊を行い近所の方や 知人に会うなどまた、馴染みの場所に行け るように取り組みたい。
33	_	〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同 士が関わり合い、支えあえるように努めている	食事やレクリエーションを一緒に行う事で、利用者同士のコミュニケーションを計るように努めている。		難聴な利用者の方がいらっしゃるため、職員が間に入り、利用者同士のコミュニケーションが円滑になるよう取り組みたい。
34	_	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要と する利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にし ている			
_	-	らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】			
35		へとりの把握 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向や希望のある方には、出来るだけ把握 に努めているが、それが困難な方にはなか なか出来ていない事がある。		意向や希望の訴えが困難な方に対しては、 家族の意見を聞くなどして取り組みたい。
36	_	〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまで のサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、家族から情報収集や本人の要望を 聞くようにしている。		

項目番号			取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	· 耳 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
37		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を 総合的に把握するように努めている	ミニカンファレンスを頻繁に行い話し合う ようにしている。		今後も、頻繁にミニカンファレンスを行い、利用者一人一人の細かい変化を、職員 全員が把握できるように務めたい。
2.	本人が	[*] より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	18	○チームでつくる利用者本位の介護計画本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	ケアプランチェックを作成し3ヶ月毎に評価しその他のニーズがある時は記入したりサービス担当者会議を開催し話し合いの機会作りをしている。		家族の面会時に入居時の様子を話し又家族 より生活歴を聞きとるようにしている。 サービス担当者会議に家族にも参加して頂 きたい。
39	19	〇現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に 対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と 話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間に応じての見直しは行ってい る。		見直し以前に変化が生じる場合に日数がか かりすぎているので改善し良い方法を探し ていきたい。
40		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記 入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしてい る	個人の介護日誌には小さな気づき等は記録 し介護計画見直し前の担当者会議で情報共 有している。		
3.	多機能	・ 能性を活かした柔軟な支援			
41	20	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能 性を活かした柔軟な支援をしている			
4.	本人が	くより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	_	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	災害等の恐れがある時は、事前に近所の交 番や消防の方にお願いし協力を依頼してい る。		今後も利用者が安心して生活を送れるように、地域の方々との関係を大切にしていきたい。

項目番号		取り組みの事実	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
43		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他のグループホームのケアマネージャの方 と顔見知りの関係を保ち情報交換を行って いる。		
44		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的な ケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働して いる	要支援2の方は入居前より包括支援センターと協働し情報収集をしている。		
45	21	〇かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ 医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように 支援している	入居の以前よりかかりつけの医療機関を伺 い希望の医療機関に受診支援している。		
46		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談 したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支 援している	専門医受診の際は同じスタッフが同伴する ようにしている(主治医より希望)		家族に専門医受診をする事が利用者にとって良いという事を説明し専門医治療を勧める様にしたい。 (利用者の状況により)
47	-	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談 しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている			看護職の方と良い関係を構築し利用者に とってのアドバイスを受けられる関係を もっと築いていきたい。
48		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時本人又は家族の承諾を得、医療機関に情報開示を行っている。入院後は毎日面会に行き状態を把握したり、洗濯の援助を行っている。		

	番号		取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
49	22	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段 階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と練り返し話し合 い、全員で方針を共有している	定期的にカンファレンスを行ない方針を決めている。		本人や主治医や家族の意見を含みグループ ホームでの介護で良いか否かの判断を早目 に行う。
50	_	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業 所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等と ともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の 変化に備えて検討や準備を行っている	どに対して検討を行っている。		
51	_	○住み替え時の協働によるダメージの防止本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家庭で使ってあったタンスや、お茶碗、お 箸等を持ってきて頂き今迄の住みなれた環 境を維持しダメージを軽くする。		
【IV	その人	らしい暮らしを続けるための日々の支援】			
		、らしい暮らしの支援			
(1		ひとりの尊重 ○プライバシーの確保の徹底			
52	23	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対 応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや対応、記録等も個人を尊重し徹 底している。		
53		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように 支援をしている			
54	24	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの ペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している			

項目	ーノ! 番号	項目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
(2	2)その	人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	_	○身だしなみやおしゃれの支援その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の希望に合せて髪染めやパーマを美容室に行ける様に支援しその人らしく過ごせるように努力をしている。		
56	25	○食事を楽しむことのできる支援食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	四季の花々を食卓に飾り会話をしながら、 副食はその人に合せてきざんだりして食べ やすくする。食事が終えると出来る方には お膳を下げたりテーブルを拭いてもらった りする。		利用者もスタッフも一緒になり家庭的な ゆったりとした生活を支援していきたい。
57	_	〇本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一 人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している			
58		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄の パターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援してい る	時間毎に排尿誘導をし一人一人の排尿パターンを知り少しづつでもオムツがはずれる様に努力している。		少しでも早く排尿パターンを見つけ気持ちよく排泄が出来る様に支援し、御家族への 負担も少なくしていきたい。
59	26	〇入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの 希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援してい る	入浴時、歌を歌ったり、しりとりをしたり して楽しく入っていただき、入浴を楽しん でもらっている。		
60	_	〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気 持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一日の流れの中で一人一人が安心して眠る 事が出来る様に昼間は散歩やレクを積極的 に取り入れている。		

	番号		取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
(3)その	人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	27	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしてい る	地域や自然に、触れあいながらいつもの仲 間やスタッフと一緒の暮らしを支えあう。		
62	_	〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援 している	お金に関する不安の原因がはっきりしない ため声かけをして安心してもらう。		
63	28	〇日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう支援している	歩行は安定し、室内独歩が見られる時は戸 外での散歩を促がし気分転換をはかる。		
64	_	〇普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別ある いは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援 している	一人一人の体調に合せ天気の良い日はドラ イブに行く。		
65	_	〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りが できるように支援をしている	ホーム便りと共に担当者が必要あれば手紙 を書き同封して送付している。		
66	_	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽 に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	豊かな人間関係ができる様に支援してい る。		

	<u>ーノ </u> 番号	項目	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
(4	l)安心	と安全を支える支援			
		〇身体拘束をしないケアの実践 			
67	_	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる			
		○鍵をかけないケアの実践			
68	29	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの 弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
		〇利用者の安全確認	昼間はレクリエーションを一緒にしたりし て遠くから見守りをし夜間は2時間毎の巡		入居者本人の感情を損なわない見守りや確
69	_	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者 の所在や様子を把握し、安全に配慮している	視を行い、居室に電気がついたり物音がすると静かにドアを少しあけ行動を確認する。		認、利用者の行動・言動・感情の変化など を早く察知して行く様に心がけていきた い。
		○注意の必要な物品の保管・管理			できる限り生活に必要な物は居室に置く用
70	_	注意の必要な物品を—律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	調理用の包丁や鋏類は事務室にて施錠をしている。		にして今迄の生活とかわりない様に暮らしていける様に心がけたい。
		○事故防止のための取り組み			
71	_	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学 び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	夜間頻尿又は徘徊のある利用者にはセンサーマットを設置している。ナースコールの使い方などを根気よく指導している。		
		○急変や事故発生時の備え			
72	_	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急処置を消防署や病院の救命士などから 年1回講義と実習を受けている。		
		州刈心の訓練を足掛的に打つている			

項目番号		項目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
73	30	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日頃より近くの駐在所の方や公民館長さん 等と交流を持ち、台風の時等は事前に見廻 りをお願いしている。		
74	_	〇リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧 感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている			家族会を発足し日頃より気軽に話せる雰囲気作りをしたい。
(5) その)人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	_	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には 速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、朝のバイタルチェックを行い入居の 一人一人の身体状態の変化や異常のサイン を早期に発見でき、重度化や入院を防ぐ努 力をしている。かかりつけの主治医とのつ ながりを密にして行く。		
76	_	〇服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や 用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	指示通に服薬できる様に支援し病状の変化 を確認している。		利尿剤や睡眠剤を服用している入居者の方 の場合は残薬の確認をする。
77	_	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のため の飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	入居者一人一人にペットボトルを持って頂き、朝、夕お茶を入れ替え水分の補給に努めている。便秘のひどい方には牛乳に黄粉を入れたりしている。		体動の少ない入居者にはなるだけホームの 廊下を往復したりして運動をしてもらう。
78	_	〇口腔内の清潔保持 ロの中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口 腔状態やカに応じた支援をしている	朝、昼、夕食後に口腔ケアを行い義歯や口 腔内の異常を見つける事に努力している。		

項目	番号	- 項 目	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
79	31	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養の偏りがないように献立をたて、嗜好品をとり入れる等、楽しく食事できるようにしている。一人ひとりの水分量は把握している。		各自、食べやすいように配慮し栄養バラン スを考えた献立作りをしていきたい。
80	ı	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の収り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは予防注射を入居者・職員ともに受けており、手洗い、うがいなど徹底している。地域の感染症発生状況の情報収集に努めている。		ノロウイルス対策として、O. 1%濃度の 漂白剤液での雑巾がけを行っている。疥癬 の予防として入浴剤を使用しているので、 今後も続けたい。
81	_	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の 衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具の漂白消毒や調理前の手の消毒の 徹底。食材は無駄なく使用している。		新鮮な食材の使用。食中毒に充分配慮しな がら調理していきたい。
		らしい暮らしを支える生活環境づくり が地のよい環境づくり			
82	_	〇 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の横の事務所から来訪者が見え、すぐ に出迎えられるように心がけている。		季節の花を飾るなどして、玄関まわりを明るくしていきたい。門の外にインターホンを取り付けた事で夜間、家族が面会しやすくしている。
83		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	雰囲気にしている。		部屋の飾りが幼稚になりすぎない様に配慮 したい。落ち着けるように、整理整頓を心 がけたい。
84	_	〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で 思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者同士の関係性には特に気を付け、一 人ひとりが居心地よく過ごせるように配慮 している。		レクリエーションを取り入れそれぞれの体 調を考えながら、過ごしやすい空間を作っ ていきたい。

	番号		取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目 目 目 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
85	33	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には家族の写真を飾ったり、本人が以 前使っていた物を置くなどして、安心して 過ごせる工夫をしている。		プライバシーを大切にして居心地よく過ご せる様に荷物の整理整頓を徹底したい。
86	_	○換気・空調の配慮気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	入居者にとって快適な温度であるように温 度調節をしている。換気はこまめにするよ うにしており一人ひとりの状態に配慮して 行っている。		一人ひとりの状態や反応を見ながら、でき るだけ自然環境に近い空調を、管理するこ とを心がけていきたい。
(2)本人	の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	_	〇身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫している	わずかな段差や家具の配置など転倒につな がる原因がないか常にチェックしている。		危険防止への取り組みが利用者の行動の抑 圧になっていないか見直したい。
88	_	〇わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立し て暮らせるように工夫している	一人ひとりの状態を把握し目印を表示して いる。		
89	_	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるよ うに活かしている	玄関先には、ベンチを置くなど外気浴でき るようにしている。		外回りの段差をなくし利用者が活動しやす い、環境をつくっていきたい。

	<u>' </u>			Fin 40 7.
		項 目		取り組みの成果
自己	外部			(該当する箇所を○印で囲むこと)
v +	トービス	スの成果に関する項目		
			0	①ほぼ全ての利用者の
90	_	 ○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		②利用者の2/3くらいの
90		○ 順負は、利用有の心に、存めし方の息回を掴んでいる		③利用者の1/3くらいの
				④ほとんど掴んでいない
			0	①毎日ある
91	_	 ○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		②数日に1回程度ある
31		○作用名と戦員が、 相には りたりと過ごす物面がめる		③たまにある
				④ほとんどない
		〇利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている -		①ほぼ全ての利用者が
92	_		0	②利用者の2/3くらいが
32		○利用有は、一人のとりのハー人で春らしている		③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
		〇利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている - -		①ほぼ全ての利用者が
93	_		0	②利用者の2/3くらいが
30				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
				①ほぼ全ての利用者が
94	_	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている -	0	②利用者の2/3くらいが
"		Offinial は、アアの自己できる。 Table Cons		③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
			0	①ほぼ全ての利用者が
95	_	 ○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		②利用者の2/3くらいが
		○利用音は、庭原音を下色原曲、文主曲で下文なく過ごとでいる		③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
			0	①ほぼ全ての利用者が
96	_	○利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して		②利用者の2/3くらいが
		暮らせている		③利用者の 1 / 3 くらいが
				④ほとんど掴んでいない

項目	番号	項目		取 り 組 み の 成 果
自己	外部			(該当する箇所を〇印で囲むこと)
			0	①ほぼ全ての家族と
97	_	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴		②家族の2/3くらいと
31		いており、信頼関係ができている		③家族の1/3くらいと
				④ほとんどできていない
				①ほぼ毎日のように
98	_	 ○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている 	0	②数日に1回程度
30		○通いの場でグループホームに馴来みの人や地域の人々が訪ねてきている - -		③たまに
				④ほとんどない
		〇運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
99	_			②少しずつ増えている
			0	③あまり増えていない
				④全くいない
			0	①ほぼ全ての職員が
100	_	〇職員は、活き活きと働けている		②職員の2/3くらいが
100				③職員の1/3くらいが
				④ほとんどいない
				①ほぼ全ての利用者が
101	_	 ○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	0	②利用者の2/3くらいが
				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
			0	①ほぼ全ての家族等が
102	_	〇職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思		②家族等の2/3くらいが
102		اِعْ الْعَامِ الْعَ		③家族等の1/3くらいが
				④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1 ユニットは認知症のひどい方が多い為、無表情で口数も少ない為、1日に1回でも多く笑ってお話をしてもらう。その為にはスタッフ自信が明るく勤務を する事。スタッフ間の和を円滑にして行く事、面会に来て頂く家族の方達やホームを見学に来て下さる方々の第一声は「ここのスタッフの方達はのびのびと して明るいですね」と嬉しい批評をして頂きます。

項目	番号	項目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容				
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)				
_	(I 理念に基づく運営】								
1.	理念の								
1	1	〇地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家と言った家庭的な雰囲気が生きがいや趣 味を持ちながら自分らしく生活できる様に	0					
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組 んでいる	利用者と話す機会を増やし、利用者の望むことを知り、自分達が見方が変わればと思い記録を残したり報告と行った人話し合いをしたりして、やさしい言葉かけ等を行っている。		毎朝申し送り後スタッフ全員で理念を唱和している。記録は実施した内容のみが主で観察した表情や言葉等を記録する様に話し合いをしている。				
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした 理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでい る	事務室の前に運営理念を揚げている。理念はホーム便りに今年から載せて郵送したり 面会に来られたら、見て頂く様に伝えている。						
2.	地域と	:の支え合い							
4	1	〇隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽 に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努 めている	施設長とホーム長が近隣(地域の方で相談されているがスタッフは顔を合わせると挨拶する程度で関係はあまり出来ていない		あまり地域との交流ができていない。				
5	3	〇地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会とか自治会にはなかなか参加出来ていない状況です。町内会の獅子舞に来てもらったり近隣の小学校の児童(子供さん達)に慰問(敬老会とかクリスマス会)に来てもらって一緒に写真を撮ったり歌を唄ったり、劇等をしてもらったりして、カレンダーを作ってもらっている。地元の人の方が太鼓とかフラダンス等にきてもらっている。	0					
6	_	〇事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事務所々職員の状況や力に応じて、 地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組 んでいる	行事や慰問がある時、事前に入居者の方に 伝えている。行事以外の催しを一緒に考え る様にすることで楽しい生活が送れる様に と声かけを行っているが希望者がなく実行 出来ていない。						

項	目番号	項 目	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部		(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
3	. 理念	と実践するための制度の理解と活用			
7	4	〇評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意 義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	行政の決まり事ではなく一人ひとり異なる 利用者のその時その時の様子をうかがいな がら介護をしている。		自由にさせてもらえる現場の環境づくりと 毎月の目標を立てていければと思っていま す。
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	短時間で効率よく利用者についての意見交換や情報伝達が出来ている。ケアスタッフが一人ひとりの日々のケアの意義目的を理解出来ている。できていないことをどうすれば更に良くなるかという可能性をいろいろ考えている。		サービス担当者と共同。さまざまな、職種 担当者が参加することで利用者の視点が広 がりケアの方向性も多様化する。
9	6	〇市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機 会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでい る	ケアマネージャーの方が交流されている。	0	
10	7	〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学 ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には それらを活用できるよう支援している	研修会に行き研修会に行ったスタッフが伝達講習をし報告書は綴って事務室に置いている。家族から聞かれた時に対応出来る様にしている。把握は入居者に家族、親権者がおられるので未だ問題意識が薄い。		
11	_	〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関適法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法については研修会に 参加し勉強を行っている。自宅で虐待を受 けていた人が入居され職員の温かい態度や 言葉で話をし傾聴すると表情も口調も穏や かになり安心して過ごされている。	()	時には未だ死にたい死んだ方がましと言われて悲観的な言葉を発せられるが医療機関的にも相談しながら見守っている。家族(二女の方)の休みの時と面会をお願いし時には外で食事を先にされる事をお願いしている。
4	理念	- と実践するための体制			
12	_	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問 点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設長、管理者が、利用者、家族に十分説明され、不安、疑問点等は注意をはらい、 相手の気持ち立場をくんでいる。		

項目	番号	項目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	- ф	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
13	_	○運営に関する利用者意見の反映利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者と話す機会を増やし不満が聞ける。 意志表示のしにくい利用者に対してもその 人の表情やしぐさから何を望んでおられる のか今後どうとらえたらいいのか(その都 度)2ヶ月に1回~3ヶ月に1回入居者の 方とスタッフとお茶を飲みながら懇談会等 を行ってはと考えています。		
14		○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の 異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をして いる	家族に利用者の状況や健康状態、検査日、結果を電話や面会時に伝えている。3ヶ月に1回ホーム便とか受け持ちか担当者が一言書いて年賀状とか、遠方の方とは便りで(写真も同封する)金銭管理(立て替え)請求書と立て替えの領収書を一緒と同封で報告されている。地域の行事の参加の声かけを行っている。今後買い物にも連れていきたい。		
15	9	○運営に関する家族等意見の反映家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1 ユニットの玄関に投書箱を設置している。家族会を検討中で(家族にアンケートを作成し、その結果で取組む予定です。	0	
16	_	○運営に関する職員意見の反映運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回ミーティングを行っている。課題 もどこかで立ち消え何も決まらない時があ る。		スタッフ同志が何でも話せる雰囲気であ る。
17	_	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、 必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努 めている	管理者の方が対応され、スタッフ全員で協 カし合って勤務がスムーズに行われてい る。		
18	10	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職とかローテーションも殆どなく固定化され入居者の方は顔は覚えられているが名前までは覚えてなく影響はあまりない様です。		

	項目番号		項 目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
ı	自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
	5.	人材の	育成と支援			
	19	11	〇人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別 や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生 きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証される よう配慮している	てかける言葉や行為を行う時の思いやりと か心などの違いがあり各自の持ち味を生か		
	20	12	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するため に、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	会議、研修参加は、全員参加。毎月1回の 勉強会で報告している。利用者の方に対し て目的意識をもって行動(気配りや心配り を大切に)取り組んでいる。		
	21	13	〇職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を たて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレー ニングしていくことを進めている			
	22	14	〇同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	1年間の勉強会の予定が組まれており他の グループホームとの勉強会懇親会等が月1 回行われ参加している。		
	23	_	〇職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環 境づくりに取り組んでいる	事務室で休息をとっているので入居者の方が淋しいのか昼休みになると私どうしたらいいと等と言われ悲観的となられる為、話を傾聴したり仕事をしながら休みを取っている状態。		職員の休憩室を考えてくださいと外部調査 の時言われていた問題ですが、(場所がな いのか)未だに出来ていない状態。
	24	_	〇向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握 し、各自が向上心を持って働けるように努めている			

項目	番号	項目	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容				
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)				
[II	安心と	安心と信頼に向けた関係づくりと支援】							
1.	相談が	ら利用に至るまでの関係づくりとその対応		_					
		〇初期に築く本人との信頼関係	 		 				
25	_	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	等を聞き取りスタッフ同士で話し合い、ど	0	対して、心をなるべく開いてもらえるように交流を図っていきたい。				
		〇初期に築く家族との信頼関係	要望箱を施設内に設置しており家族の方の						
26	_	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	意見が聞けるように努めている。又、要望						
		〇初期対応の見極めと支援	把握した上で職員同士が話し合い、どの様 に支援しなければならないのか考え支援し ている。						
27	_	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			持続して努めたい。				
		○馴染みながらのサービス利用							
28	15	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者さんの要望、思いを聞き入れスタッフ同士や家族とも話し合いサービス、支援 方法を考えている。		地域サービスをあまり活かされていないの で地域とも交流をしていきたい。				
2.	新たな	ご関係づくりとこれまでの関係継続への支援							
		〇本人と共に過ごし支えあう関係							
29	16	職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフと入居者さんでレクリエーションで一緒に楽しみ、笑い、触れ合い交流を図って関係を築いている。	0	今よりもっと入居者さんとコミュニケーションをとれる時間を沢山つくれるようになる。				
		〇本人を共に支えあう家族との関係							
30	_	職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	昔の生活や性格を取り入れ家族と入居者さんんのつながりを深め疎遠にならないように努めている。	0	家族と本人の絆を大切にし交流を深めてい きたい。				
<u></u>	<u> </u>		L						

項目	番号	項 目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
31	_	〇本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が 築いていけるように支援している	遠方で日頃、会う機会が少ない方には、お 手紙や電話で家族との関わりを築いてい る。		なるべく誕生日会などに家族の方が出席し てもらえるように取り組んでいきたい。
32	_	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブ時など、昔住んでいた家の前を 通ったり、思い出話しをもてるように努め ている。	0	持続して支援していく。
33	-	〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている	レクリエーションの時間の時は、利用者さ ん同士が楽しんでコミュニケーションが多 くできているようにしている。		コミュニケーションが苦手な利用者さんに 対して無理なく交流ができるようにその方 に合った関わり方を考えていきたい。
34		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要と する利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にし ている	終了しても手紙や電話で交流関係を大切にしている。		
	-	らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】			
35	17	へとりの把握 〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	コミュニケーションや日頃の生活の中で 困っていること、望んでいることを聞き 取っている。		入居者さんと多くの時間を今より沢山、取 り入れるようにしたい。
36	-	〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまで のサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の方にも入居者さん本人の生活ぶり、 健康状態などを随時報告している。		

	ークト <i>i</i> 番号		取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
37	_	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を 総合的に把握するように努めている	利用者の健康状態や、毎日の生活を、朝、 タ、スタッフに申し送りをしている。		入居者の訴えのある人は良いが、言葉少な めの人には細かいチェックが必要だと思 う。
2.	<u> </u> 本人が	 『より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	10	〇チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本 人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映した介護計画を作成している	一人一人のケアプランを作成し利用者が望 む事を心がけている。		
39		〇現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に 対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と 話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化に応じて、入居者の希望、家族の希望 を電話や面会に来られた時に三者面談す る。		
40	_	〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記 入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしてい る	実践出来た事は、共に喜び合い、少しでも 自立出来る様に入居者、スタッフお互いに 頑張っている。		
3.	多機能	・ 性を活かした柔軟な支援			
41	20	○事業所の多機能性を活かした支援本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族に負担がなく、又、利用者が家庭的な 環境の中で、日々送れる様にしている。		
4.	本人が	より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	_	○地域資源との協働本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防の方や、警察の方が、時々巡回されたり、声かけされたりして、協力してもらっている。		

項目	番号	項目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	- Д	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
43	_	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	色々なグループホームとの勉強会を、月に 一度参加し他に講習会等も行っている。		
44		〇地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			
45	21	〇かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ 医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように 支援している	利用者の体調が思わしくない時は、毎月の 定期検診以外にスタッフと話し合いなが ら、何度も受診している。		
46	_	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談 したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支 援している	かかりつけの専門医に今の状況を相談し、 家族にも把握してもらい協力してもらって いる。		
47	_	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談 しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ほたるの里に、元看護師が4人いるので、 常に体調の訴え急変な時は、24時間いつ でもかけつけてもらっている。		
48	_	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	看護師がいるので、医師との疎通も出来、 家族にも適切に会話ができている。		

項目	<u>- ツト2</u> 番号	· 西	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	項 目	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
49	22	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段 階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と練り返し話し合 い、全員で方針を共有している	急変時、かかりつけの病院に電話し指示を 仰ぎ速急に病院へ連れて行っている。	0	通院の困難な利用者には往診へ来てもらえ る様な病院との連携を取りたい。
50	_	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業 所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等と ともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の 変化に備えて検討や準備を行っている	生命に直結する問題と向き合わなければならないが、日常生活を安全にする為に情報を収集し話し合っている。急変や状態が悪い時は受診し家族に連絡し状態報告などを行なう。状態などを見て入院させてもらう。グループホームでは設備ができてないので先生より家族に説明して他の施設などにお願いする。		
51	_	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族 及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行 い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居前に家族と本人にオリエンテーションと説明をお願いしている。体験入居(2、3日)行っている。		
【IV	その人	らしい暮らしを続けるための日々の支援】			
	-	らしい暮らしの支援			
(1		.ひとりの尊重 ○プライバシーの確保の徹底			
52	23	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対 応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報や介護記録等は個々にファイルに し保管している。		
53	_	〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように 支援をしている	入居者さんの思いや考えを聞き取り入れて いる。		
54	24	〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの ペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	入居者一人一人の意見を大切にして、レク リエーション等を行っている。		

項目	番号	項目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容			
自己	外部			(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)			
(2	(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援							
55	_	○身だしなみやおしゃれの支援その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	入居者の要望があればホームに美容師さんに来て頂き本人の希望に応じた髪型をした り長髪の人には結んで清潔にしている。					
56	25	○食事を楽しむことのできる支援食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の後片付けが出来る人には、テーブル 拭きトレー拭のお手伝いを職員と一緒に 行っている。					
57	_	〇本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一 人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ時にはカルシウムを摂取する為に、 牛乳、pm3時には果物を多く摂る様に配 慮している。					
58		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄の パターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援してい る	排泄記録表を作成し時間帯をチェックして 誘導を支援している。					
59	26	〇入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの 希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援してい る	体調に合わせて週に3回入浴の予定をしている。入浴前にはバイタルチェック、体温などの測定をこまめに行っている。					
60	_	〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気 持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠出来る様に癒し系の音楽など聴いたり と気持ちが和む様に支援している。		ホットパック(タオルを湿らせ温める)気 持ちが落ち着く様に首の周囲に当てたりと 安眠出来る様に工夫している。			

項	目番号	項目	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容			
自己	, 外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容) (取 いきた		(すでに取り組んでいることも含む)			
((3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援							
61	27	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしてい る	ぬり絵、歌の好きな人それぞれ好みに合わせた遊びをレクリエーションに取り入れて行っている。		歌詞カードを作成し楽器等を使って合唱し ている。			
62		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援 している	レクリエーションでフリーマーケットを作り、入居者さんにお金を所持。皆さん自分の好きな品物を買う喜びを味わっている。		金銭面を理解出来る人には近くのスーパー に出かけ買い物をする様に支援していきた い。			
63	28	〇日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられるよう支援している	歩行や車イスが可能な人には近辺を散歩し ながら季節の花を摘み居室に飾る。					
64		〇普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別ある いは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援 している			家族会がないため実行が出来てない			
65	_	〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りが できるように支援をしている	電話を自分でかけれる様に指導している。					
66	_	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽 に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している			徘徊や帰宅願望が強い入居者の方がいる 為、玄関に鍵をかけているので鍵をしない 方向にしたい。			

	番号	項 目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容		
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)		
(4	(4)安心と安全を支える支援						
67		〇身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の 対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をし	一人一人の見守りをしっかりとし、身体拘 束をしない様に取り組んでいる。				
68	29	ないケアに取り組んでいる 〇鍵をかけないケアの実践	夜間も関係なく、ウロウロされる入居者が いるので、時と場合によって鍵をかけてい る。	0	一人一人の安全を確認し、見守りをしっか りとして、なるべく鍵をかけない様にした い。		
69	_	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者 の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間は入居者の眠りの妨げにならない様に 巡視したり、昼は入居者一人一人へ声かけ をしながら見守っている。				
70	_	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を—律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている					
71	_	○事故防止のための取り組み転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒しやすい入居者には夜間センサーマットを使用したり、巡視を強化したり、年に2回ほど、スタッフ全員参加で火災訓練をしている。				
72	_	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初 期対応の訓練を定期的に行っている	看護師さんより、スタッフ全員参加にて心 肺蘇生法の訓練を定期的に行っている。				

項目	番号	項目	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容	
自己	外部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)	
73	30	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災訓練を行ない入居者さん一人 一人に見合った、避難を日頃から考えて取 り組んでいる。		地域の人々の協力があまり得られていない ので、積極的に地域の協力を得り交流も深 めていきたい。	
74	_	〇リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧 感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	日々の暮らしで安全、安心に生活出来るように危険のないようにし鍵をつける時など は家族に伝えて状況を知らせている。		入居者さん一人一人の安全を日頃から察知 して、スタッフ同士話し合っている。	
(5)その	人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	_	○体調変化の早期発見と対応一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に入居者さんの顔色歩行など健康状態 (バイタルチェック)等を察知し、その時 の体調の変化に対応している。		かかりつけ往診病院の連携をはかっていないので再度見直し取り組みたい。	
76	_	〇服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や 用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	薬が新しくなれば、全員のスタッフに知らせ副作用、用法等、理解に努めている。薬を間違えないように各入居者さんの薬入れを作って管理している。		お薬の説明書を見て確認をしている。今後 も維持していきたい。	
77	_	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のため の飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	運動が出来るかたには散歩や体を動かし、 予防に取り組んでいる。腹部マッサージを 行ったり、できるだけ薬に頼らないように 心がけている。		食物繊維を多く取るように心掛けている。	
78	_		朝・昼・夕の食後にスタッフと一緒に口腔 ケアを行っている。日頃から、口の中の状 態をチェックし清潔を保持している。		維持していきたい。	

項目	番号	項目	取り組みの事実	〇印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	块 口	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
79	31	○栄養摂取や水分確保の支援食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応じた支援をしている	水分量の少ない入居者さんに対しては時間 をかけてゆっくり無理なく、摂取して頂い ている。		
80		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の収り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	流行前から感染予防を行ないかからないように手洗い、うがい、温度調整、食事など 徹底に対応し予防している。		地域の感染状況の情報をすばやく収集できるように地域の交流、事業所の連携に努めたい。
81	_	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の 衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理を毎日徹底に行い当たり前の事だ が、手洗いを習慣づけている。		
		。 らしい暮らしを支える生活環境づくり い地のよい環境づくり			
82	_	〇 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	気軽に訪問して頂ける為にもきれいに明るく、清潔し安心して来て頂ける為にも日頃から掃除、身だしなどに気をくばっている。		
83		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ソチ却心の化を助うたりと治心心のくして	0	どんな居室が良いか要望を聞き、できるだけ実現できるように支援していきたい。
84	_	〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で 思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	プライバシーを保つ為にも個別の居室に なっており居場所作りにも、心がけてい る。	0	現時点では、喫煙者はいないが、いた場合 の事を考え喫煙場所の確保を考え取り組ん でいきたい。

	ユニットと				
項目	番号	項 目	取り組みの事実	O印	取り組んでいきたい内容
自己	外部	ý, c	(実施している内容・実施していない内容)	(取り組んで いきたい項目)	(すでに取り組んでいることも含む)
85	33	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感を求めて家具や調度品を持って来て下さってもいい事は伝えている。箪笥は設置されている。安心して暮らせる関係作りと環境とふれあいと笑い合える様に		
86	_	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調 節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じ てこまめに行っている	天井扇をまわす。窓に日よけをつける等が 工夫をしている。談話室と臭いがある居室 に換気・清浄器と市販の芳香・消臭剤を使 用している。冷暖房設定、温度と衣服の調 節等を必要に応じ行っている。		
(2	:)本人	の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	_	〇身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫している	一直線に続く長い廊下で見通しは良く安全 の確認は取りやすいが移動に時間はかかる が、見守りは出来ている。廊下の照明、バ リアフリーで廊下に手すりもある。トイ レ、洗面所も居室にありプライバシー確保 できている。		
88	_	〇わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立し て暮らせるように工夫している	同じ居室が並んでいるので表札(名札)を工夫。利用者のカーテンの色柄の異なる物を使用。引き戸が生活感を損なわない工夫。 居室を間違われる人の所には目印等、廊下が移動可能な空間となっている。		
89	_		限られた敷地で、いかに有効的な生活の場をと考えているが、中々に出来ていない状況ですが、外でお茶を飲んだり歌を唄ったりしている。外気浴をしながら、おしゃべりをしたりしての活動を行っている。		花壇に花を植えたり、草を取ったりして咲 いた時の喜びを続けていけたらなぁと思っ ています。

	<u> </u>			T 11 (T 2 2 1 T T
項目	番号	項 目		取り組みの成果
自己	外部			(該当する箇所を〇印で囲むこと)
v +	トービス	スの成果に関する項目		
			0	①ほぼ全ての利用者の
90	_	 ○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		②利用者の2/3くらいの
90		○ 順負は、利用名の恋いで願い、春らし力の息回を掴んでいる		③利用者の1/3くらいの
				④ほとんど掴んでいない
			0	①毎日ある
91	_	 ○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		②数日に1回程度ある
31		○作用名と戦員が、 相には りたりと過ごす物面がめる		③たまにある
				④ほとんどない
		〇利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている -	0	①ほぼ全ての利用者が
92	_			②利用者の2/3くらいが
32				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
		〇利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている - -	0	①ほぼ全ての利用者が
93	_			②利用者の2/3くらいが
30				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
			0	①ほぼ全ての利用者が
94	_	〇利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている -		②利用者の2/3くらいが
34				③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
			0	①ほぼ全ての利用者が
95	_	 ○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		②利用者の2/3くらいが
		○17771日155、 庭原音社で色源画、 メエ曲で主义な、過じさしいの		③利用者の1/3くらいが
				④ほとんどいない
				①ほぼ全ての利用者が
96	_	○利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して	0	②利用者の2/3くらいが
		暮らせている		③利用者の 1 / 3 くらいが
				④ほとんど掴んでいない

項目	番号	項目		取 り 組 み の 成 果
自己	外部	模 口		(該当する箇所を〇印で囲むこと)
			0	①ほぼ全ての家族と
97	_	 ○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴		②家族の2/3くらいと
31		いており、信頼関係ができている		③家族の1/3くらいと
				④ほとんどできていない
				①ほぼ毎日のように
98	_	 ○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている -		②数日に1回程度
30		○通いの場でグルークボームに馴来のの人で地域の人々が訪ねてきている -	0	③たまに
				④ほとんどない
		〇運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
99	_		0	②少しずつ増えている
				③あまり増えていない
				④全くいない
			0	①ほぼ全ての職員が
100	_	〇職員は、活き活きと働けている - -		②職員の2/3くらいが
100				③職員の1/3くらいが
				④ほとんどいない
			0	①ほぼ全ての利用者が
101	_	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		②利用者の2/3くらいが
				③利用者の 1 / 3 くらいが
				④ほとんどいない
			0	①ほぼ全ての家族等が
102	_	〇職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思		②家族等の2/3くらいが
102		סֿ <u>י</u>		③家族等の1/3くらいが
				④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

私達ほたるの里は、医学療法士の先生に週に一度来てもらい、ADL維持、向上の為に取り組んでいます。そして地域の小学校から色々な行事に招待されたり、施設でイベントを行ったりして、交流も深まっています。又、食事、掃除の専属スタッフがいる為、ユニットごとに、最低3名のスタッフが介護にあたれるよう勤務態勢を整えています。